



広島工業大

本館の耐震補強工事完了



大学院2年

手島 慶祐

広島工業大（広島市佐伯区）の本館の耐震補強工事が完了した。本館は、1968年に完成した6階建てで、新耐震基準以前の建物のため耐震性能を強化した。同時に設備も全面リニューアルし、20日から使えるようになった。

本館には経営管理部をはじめ、広報部、ICTセンター、大学の運営を支える研究・地域連携支援部などがある。二重構造のペアガラスを採用し、空調機も取り換え、断熱効果がアップした。

省エネルギー化も実現

特に空調機はガスを動力源とするため、災害時でも稼働できる。また、全ての照明器具を発光ダイオード（LED）化し、トイレや共用部の照明のスイッチを人感

センサーで制御するようになった。

経営管理部の久保田泰孝さん（54）は「以前と比較して3、4割の省エネになるだろう」と期待する。リニューアル工事による省エネルギー化の実現は、広島工業大の学生としても誇らしい。



耐震補強工事が完了した本館